



海の生物編①

さて、突然ですが、ここで問題です。

この綺麗な海。どこの国の海だと思いますか??

正解は日本の海です。

沖縄県の池間島(いけまじま)という島の海です。

日本にもこんなに綺麗な海があったのかと驚いた人もいないのでしょうか?

このような魅力的な海が日本にはたくさんあるので、これからみなさんに紹介したいと思います。



①見た目がきれいな海



②水質が綺麗な海



～日本の海について～



③魚が豊富な海



海の生物編②

①番の海は小笠原諸島の海です。
沖縄の海と同じくらいキレイですね。
なぜ海がこれほどまでに綺麗に輝いて見えるのか。みなさんわかりますか？

その理由は、沖縄や小笠原諸島の海は水自体がとてもキレイな上に、海辺の砂が白いからです。
透明で綺麗な水と海辺の白い砂が太陽の光に照らされるとエメラルドグリーン色に綺麗に輝いて見えるのです。



一方、②番の海はどうでしょうか。

①番の海に比べると少し暗く見えますね。
しかし、この海も①番の海と同じくらい水自体は綺麗なのです。(水質)
では、なぜ②番の海は綺麗に見えないのか。答えは、砂の色の違いです。

①番は先ほど説明した通り、海辺の砂がとても白いです。
しかし、②番の海辺の砂は茶系の色をしています。茶色は白に比べて暗い色であり、太陽の光を浴びてもあまり輝きません。よって、①番の海に比べて、②番の海は綺麗に見えないのです。

このように、「綺麗に見えない海がすべて汚い海」ではないということを皆さんわかっていただけたでしょうか。日本には②番のような見た目ではあまりわからない水質の綺麗な海がたくさんあります。

また、日本の海は綺麗というだけでなく、生き物がたくさん棲んでいる海でもあります。

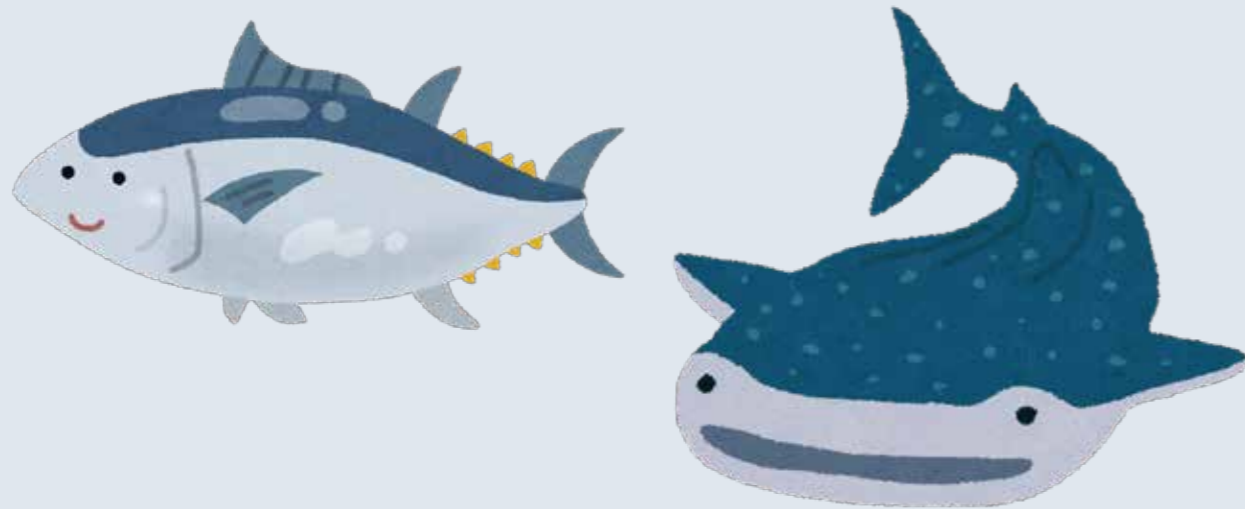
③番の海は東京湾の海です。

実は東京湾にはたくさんの魚たちが棲んでいるということを知っているでしょうか。
急激な工業化が進み、一時期は水質汚染も叫ばれていましたが、多くの人たちの努力によって、水質が改善され、「干潟」など「海洋生物のすみか」の再生も進んでいます。

また、水温も魚が生息するのに丁度よく、酸素もたくさんあります。
なので、東京湾にはたくさんの魚たちが棲んでいる「豊かな海」であるのです。
このように日本の海は、魚たちにとって住みやすい環境でもあるということも特徴の一つです。

～日本の海はたくさんの生きものが暮らしている～

海水魚



哺乳類



海の生物編③

では、日本の海にはいったいどれだけの生きものが住んでいるのか。
みなさんはわかりますか？

現在、世界には127種類もの海の哺乳類が生息していますが、その中で日本の海には50種類の哺乳類が生息しています。

これは、世界中の哺乳類の40%が日本の海に生息していることになります。

※海の哺乳類とは、海に生息し、卵で子を産まず、母親の体から子を産む生きもののこと。イルカやクジラなどが海の哺乳類になります。

また、世界中に15,000種類いるといわれている海水魚のうち、日本の海には3,700種類の海水魚が生息しています。

※海水魚とは、海に生息し、子を卵で産む魚のこと。

このことからわかるように、日本の海にはたくさんの生きものが生息しています。
「生物多様性」という意味からも、日本のゆたかな海は貴重なのです。

ゆたかな海があるからこそ、私たちはゆたかな生活を送れていることを
覚えておきましょう。

